

# 平成28年度にぎやか会事業報告

平成28年度、事業面においては、放課後等デイサービスあおぞらの施設整備が完了し、4月より、重心を含めた15名定員で開所しました。市内に多くの放課後等デイサービスができる中で、重症心身障害児の受け入れを含め、より良いサービスの提供が求められています。また、ポプリンについては、利用者増対策として、賃借していました現在の土地・建物について購入し、もう1か所の新規施設整備計画を進めました。しかし、協議していました民間助成が不採択となり、ポプリンだけでなく圏域においても生活介護事業所が不足している現状の中、早期の整備実現が望まれています。

法人運営においては、平成29年度社会福祉法人制度改革に向けて、新しい制度の下での評議員の選任や定款変更等の準備を進めました。今後、改革の趣旨に沿った法人の組織づくりと事業の推進に取り組んでいくこととなります。

## (1) 地域福祉の確保

- ①関係者とともに将来構想を検討し、地域のニーズに応えるサービスを創出する。
  - ・日中活動の場の充実・発展
  - 現在のポプリンの土地建物の購入と、新規生活介護事業所の施設整備計画を進めました。
  - JKA助成金については、不採択となり次の整備補助の検討を進めることとなりました。
  - ・重症心身障害児を含めた定員15名で、放課後等デイサービス「あおぞら」を開所しました。
  - ・法人内の利用者を中心に相談支援事業を推進し、法人内事業所や関係機関との連携を深めました。
- ②法人広報やホームページにより、関係者、関係機関、地域に、法人情報を広く公開しました。
- ③各事業においてボランティアの受け入れ、地域行事への参加により、地域交流を進めました。
- ④法人内の事業所利用者の作品による「とっておき作品展」を開催し、家族や関係者、地域の方等多くの方にご来場いただきました。

## (2) 事業（サービス）水準の向上

- ①事業の連携・交流のため、職員の事業間の異動、応援体制を実施しました。
- ②職員の資質向上のため、研修の機会を充実しました。
- ③自己申告書による職員の面談、勤務評価を継続し、人材育成の機会としました。  
また、職員提案により、職員の意見を取り入れた改善の実施を検討しました。
- ④サービス自己評価を実施し、改善計画の実現に向けて検討しました。

## (3) 利用者中心のサービスの確保

- ①各事業において、創作活動を充実させるとともに、発表の場として作品展を開催しました。
- ②人権、虐待防止研修に取り組みました。

## (4) 安全管理の徹底

- ①事故報告等をもとに、交通安全等、職員としての安全管理の指導に努めました。

## (5) 健全経営の確保

- ①運営会議を開催し、各所長等による各事業の課題解決や情報交換の機会にしました。
- ②各事業利用状況、利用料収入の確認、分析を継続しました。
- ③社会福祉法人制度改革に向けて、評議員の選任や定款変更等の準備を進めました。
- ④勤勉手当の増額、介護職員処遇改善手当の支給を継続しました。